

主な事業体別読者構成

設備工事業(空調・衛生)

高砂熱学工業
三菱冷熱工業
新日本空調
東洋熱工業
三機工業
三建設備工業
大気社
ダイダン
朝日工業社
日本設備工業
須賀工業
斎久工業
第一工業
ヤマト
西原衛生工業所
三晃空調
サンセツ
テクノ菱和
川崎設備工業
川本工業
日比谷総合設備
菱機工業
エルゴテック
オーク設備工業ほか

設備工事業(電気)

九電工
関電工
東光電気工事
ユアテック
トーエネック
きんでん
四電工
中電工

日本電設工業
栗原工業
住友電設
関電エネルギーソリューション
中央電気工事ほか

建設業

竹中工務店
大林組
鹿島建設
清水建設
大成建設
フジタ
戸田建設
佐藤工業
前田建設工業
東急建設
西松建設
北野建設
安藤・間
熊谷組
鴻池組
若築建設
飛鳥建設ほか

公益事業

関西電力
東京電力
大阪ガス
東京ガス
中国電力
東邦ガス
JR東海
JR東日本
北陸電力ほか

総合設計事務所

日建設計
山下設計
久米設計
NTTファシリティーズ
三菱地所設計
日本設計
梓設計
安井建築設計事務所
日立建設設計
松田平田設計
佐藤総合計画ほか

設備設計事務所

総合設備コンサルタント
森村設計
ムラシマ事務所
総合設備計画
産研設計
蒼設備設計
ビーエーシー
アイ・ピー・イー
環境設備計画
エステイ設計
環境設計国建ほか

コンサルタント

日建設計総合研究所
パシフィックコンサルタンツ
明豊ファシリティワークス
NTTファシリティーズ総合研究所
ニュージェック
日水コンほか

不動産・住宅・プレハブ

大和ハウス工業

NTT都市開発
三井不動産アーキテクチュラルエンジニアリング
東京ガス都市開発ほか

ビル管理業・メンテナンス

日本メックス
アサヒ ファシリティーズ
NECファシリティーズ
鹿島建物総合管理ほか

官公庁・公社・公団・学校

地方自治体(市区町村)
地方自治体(都道府県)
私立大学教職員
国立大学教職員
日本郵政
各種学校教職員
病院
国土交通省ほか

メーカー・その他

ダイキン工業
三菱電機ビルテクノサービス
アズビル
日本ビーマック
エアーサプライ
朝日機器
新晃工業
パナソニック
パナソニックESファシリティエンジニアリング
パナソニック環境エンジニアリング
日立アプライアンス
北菱電興
三菱電機冷熱プラントほか

建築設備士

BUILDING MECHANICAL AND
ELECTRICAL ENGINEER

媒体資料

発行 一般社団法人 建築設備技術者協会

〒105-0004 東京都港区新橋6-9-6 12東洋海事ビル
TEL : 03-5408-0063 FAX : 03-5408-0074
URL : <http://www.jabmee.or.jp>

広告取扱総代理

株式会社 中外

www.chugai-ad.co.jp

東京 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2(須田町佐志田ビル) tel.03-3255-8411 fax.03-3255-8412
大阪 〒541-0053 大阪市中央区本町2-1-6(堺筋本町センタービル) tel.06-6260-1791 fax.06-6260-1540
名古屋 〒460-0007 愛知県名古屋市中区新栄3-5-1(セントラル千種) tel.052-242-2510 fax.052-242-2513
上海 〒200030 上海市漕溪北路18号实业大厦34楼G座 tel.+86-21-6427-3660 fax.+86-21-6427-2909

VMC Partner
chugai



広告取扱総代理

VMC Partner
chugai

建築設備士とは？

建築設備士は、建築設備全般に関する知識および技能を有し、建築士に対して高度化・複雑化した建築設備の設計・工事監理に関する適切なアドバイスを行える資格者として位置づけられています。

資格を取得し、建築設備技術者協会に登録すれば、登録証が交付され、建築設備士としての業務に従事できます。

建築設備とは？

建築設備とは、建築物をより快適で便利に使用するためのものです。つまり建築物に機能をもたらすものといえます。私たちが安全に快適に生活したり、仕事をするためには「空気」「水」「光」「熱」が不可欠です。建築物の空間で、これらを具体化するものが建築設備で、主に空調・換気設備、給排水衛生設備、電気・照明・情報通信設備、防災設備、搬送設備などで構成されています。地球環境保全や高度情報化に伴い、安全や快適性に留まらず、省エネルギー性・信頼性・経済性など多様な面からの検討が期待されています。

設立と歩み

昭和58年、建築士法の改正により、建築士に対して建築設備の設計・工事監理に関するアドバイスを行う建築設備資格者(建築設備士)制度が創設され、昭和61年度より多数の建築設備士が誕生しております。

この建築設備士を中心とする団体の結成が関係諸団体の支援の下に進められ、平成元年7月27日に設立総会が行われました。次いで平成元年11月6日には建設大臣より社団法人の認可を受け、社団法人建築設備技術者協会が発足しました。平成25年には一般社団法人に移行認可されました。

建築設備士、設備設計一級建築士、空気調和・衛生工学会設備士および建築設備士資格取得を志す方々と当協会の事業をサポートする企業・団体で構成されています。

賛助会員になると

会員割引で広告掲載ができます。

*当協会の賛助会員になりますと、自社の技術・新製品などを会誌「建築設備士」に会員割引で広告掲載ができます。このほか、会誌「建築設備士」(月刊)が毎月無料で送付されます。

賛助会費1口=30,000円より

月刊「建築設備士」とは…

空調・電気・給排水設備の設計・工事監理・施工管理および防災、省エネルギー、環境問題などを網羅した建築設備技術者の唯一の実務専門雑誌です。

目次一覧

- ◆ 特集
- ◆ 事例研究
- ◆ 私のひとこと
- ◆ 法令紹介
- ◆ その他
- ◆ 竣工フラッシュ
- ◆ 技術トピックス
- ◆ サロン
- ◆ 情報年鑑

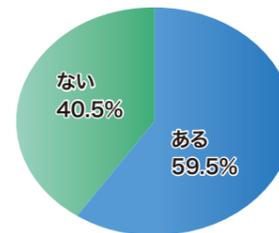
読者の閲覧状況

毎月読んでいるか

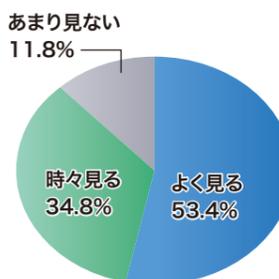


読者アンケートによれば

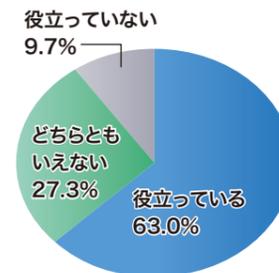
本誌に掲載されている広告を見て、その製品・システム・企業などを選択または、採用したことがありますか。



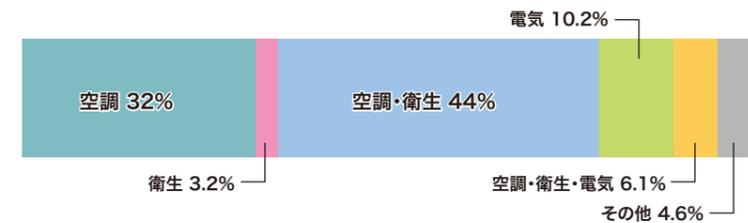
本誌の広告ページをよく見ますか。



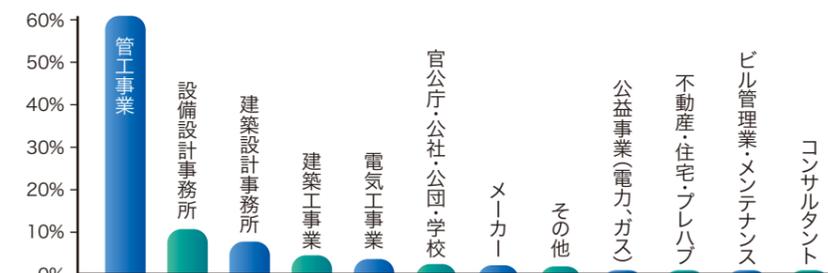
本誌の広告は製品情報の収集に役立っていますか。



専門分野別読者構成



業種別読者構成



地域別読者構成



媒体概要

体裁	月刊誌 A4判・80頁・直販
発行部数	12,000部
発行日	当月5日
広告申込締切日	前々月末日
広告原稿締切日	前月5日
印刷方法	オフセット印刷
広告寸法	A4判 1頁 天地260mm × 左右180mm 1/2頁 天地125mm × 左右180mm

